2026年度第3回（理科）　解答例と正答率

【大問1】…大問全体での平均得点率 59.2%
(1)　ウ→エ→イ→ア　27.0%
(2)　え　61.5%
(3)　酸素の供給を断つため。　38.2%
(4)　受粉　82.2%
(5)　光合成　87.4%

【大問2】…大問全体での平均得点率 65.1%
(1)X　線状　68.4%
　Y　積乱　83.3%
(2)　あ、う（順不同）　72.7%
(3)①　い　69.0%
　②　建物の上の階への避難　32.2%

【大問3】…大問全体での平均得点率 62.1%
(1)　あ、え　69.5%
(2)①　　イ　58.1%
　②　い、う　37.4%
(3)①　い　60.0%
　②　う　68.4%
　③　あ　80.0%

【大問4】…大問全体での平均得点率 40.0%
(1)　170g　37.4%
(2)　980g　59.2%
(3)　820g　11.5%
(4)　銅　51.7%

【大問5】…大問全体での平均得点率 53.6%
(1)　26%　42.0%
(2)　125g　58.6%
(3)　い　29.3%
(4)　3.6（3.5）g　17.2%
(5)①　ろ過　85.6%
　②　右図参照　71.8%
　③　理由1、2：液体が飛び散らないようにするため。ろ過を速くするため。(順不同)　37.1%

【全体の講評】
　大問1は各分野から小問集合を出題しました。教科書にある基本的な問題を集めました。大問2は地学分野から気象に関する問題を出題しました。石川県での大雨を題材に線状降水帯や避難に関する問題を出題しまし

た。科学的な時事問題にも注目してみましょう。大問３は生物分野からサバクトビバッタの生態に関する問題を出題しました。実験結果からどのようなことがわかるかを読み取る問題でした。大問４は物理分野から浮力に関する問題を出題しました。与えられた実験結果から計測された重さの関係を読み取る必要がありました。6種類の図があるので、状況を整理し、問題に対応する力が必要です。大問５は化学分野から食塩水の水に対する溶ける量とろ過について出題しました。食塩水の濃さを求める問題は定番でした。ろ過の図を描く問題では、日頃から実験の模式図を描く練習をしましょう。